



平成29年6月10日
Vol. 152

発行所 加来不動産株式会社
発行者 加来 寛 ・ スタッフ一同
小倉南区守恒本町一十二丁二十三番一〇一
(〇九三)九六二一五八二一
<http://www.kaku-fco.jp/>

よい天気がつづきますね♪

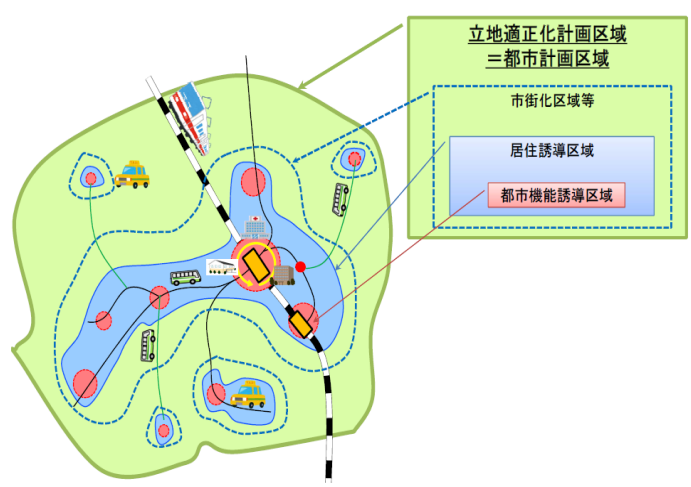


五月最後の日ように、子どもたちの運動会がありました。例年天気がイマイチだったので今年はどうだろうか、と思っておりましたが、その心配も吹き飛ばすほどの快晴でした。お陰で日焼け止め対策したにも関わらず、しっかりと日焼けしてしまいました・・・。

Q、「最近『コンパクトシティ』という言葉をはじめて耳にしました。国の政策とのことですが、今後どのような影響が考えられるのでしょうか？」

A.「コンパクトシティ」という言葉をテレビで聞きました。印象としては今後住む場所が特定されるような話だったと思いますが、今後生活自体に何か影響がでるような政策なのでしょうか？」

A.「住む場所が特定されるほどつよい政策ではありません。ですが、今後の人口減による将来的な長期対策として国が推進していく政策です。」



『コンパクトシティのイメージ図』

コンパクトシティってなに？

人口減少・高齢化が進むなか、とくに地方都市においては、地域の活力を維持するとともに、医療・福祉・商業などの生活機能を確保し、高齢者が安心して暮らせるよう、地域公共交通と連携して、コンパクトなまちづくりを進める政策のことです（国交省ホームページより）。

コンパクトシティについて

■今後どうなるの？

上の『コンパクトシティのイメージ図』にあるように、青い点線が現在の市街化区域内の線をあらわしています。

ですが今後はその市街化区域内でもさらに青に塗りつぶされた区域を『居住誘導区域』とし、なるべくその区域内に居住を推進するうごきをとっていきます。

また、赤に塗りつぶされて丸で囲った区域を『都市機能誘導区域』とし、福祉や医療・商業施設などの立地促進をうながす地域としていきます。



これによりどのような影響が出てくるかは様々なことが予想されますが、分かりやすいのは不動産価値の二極化は避けられないことになると思います。

■まとめ

この『コンパクトシティ』については今月（6月）24日・土曜日に弊社主催のセミナーでも触れさせていただく情報です。このことはこれからの将来に多少なりとも影響をおよぼすことが予想されますので、ぜひご自分でも積極的に情報を集めることをオススメいたします。

《編集 加来》

突撃！となりの賃貸管理業務

タイトルは『「お父さん、お母さんありがとう！」子どもに感謝される幸せ相続の準備』です。

次のような方はぜひお話を聞いて頂けると、モヤモヤしていたものがスッキリと晴れるのではないかと思います。

- 相続相談はまだ早い(大丈夫)と思っている
 - 何となく相続に不安を感じている
 - 税理士や司法書士には相談しづらい
 - ハウスメーカーや不動産会社に不信感をもっている
 - 賃貸マンション・アパートを所有しているが、なぜかお金が残らない
- ◎お電話でのお申込みも受付いたします。お気軽にお声かけ下さい。
TEL 0120-44-9923

加来不動産株式会社 第一回定例セミナー

お父さん お母さん ありがとう！

子どもに感謝される幸せ相続の準備

2017.6.24(土)

講演:13:30~15:30

加来 寛
加来不動産株式会社 代表取締役

亀島淳一
株式会社シナジープラス 代表取締役

第一部 相続を幸せな出来事にする！ 幸せ相続計画の成功ポイント

第二部 子どもも安心！ お金を残す幸せ賃貸経営



石川の

先月のグッときた本の紹介

『超訳 般若心経』

～すべての悩みが小さく見えてくる～



著者: 境野勝悟

出版: 三笠書房

「お経の本か、難しそうだな」と思いながら購入した般若心経の本。

解説がとてもわかりやすく読み終えると、人の悩みは昔から現在にかけて変わらないのだな、としみじみ思いました。

印象深かったのは「色不異空（しきふいくう）」「行即是空（ぎょうそくぜくう）」。理屈に合わないことも受け入れなさい。自分が正しいと思うから苦しいのです、ということです。主張がつよい私としては耳の痛い言葉です。皆さまも般若心経に体験に触れると耳の痛いお言葉が聞けるかもしれませんよ。羯諦羯諦（ぎやていぎやてい）。

ひとこと不動産業界

“LPガス利用料金が透明化”

六月からLPガス会社は、家主との契約内容を入居者に明示しなければいけなくなりました。賃貸住宅の給湯器やエアコンなど、その設置費用をガス会社が負担し、入居者が支払うガス料金に転嫁して回収している場合、この内容について入居者に説明と料金明細の明記が義務付けられます。

ウチ。こんなことをやっています

天気に恵まれた5月の末に植えかえ作業を行いました。

「暑い中での作業でしたが、美しく咲く花をみると、疲れも吹っ飛ばすような元気をもらったよ。」と植えかえ作業をした担当者が言っていました。



ぜひ当社近くにお立ち寄りの際は、花壇に咲く色とりどりの花をお楽しみ下さい。

《加来不動産を美しくする委員会

今井》

石川明人の感動体験

5月13日。加来不動産では初めてとなる海外研修へ行ってきました。

場所は沖縄よりも南側に位置する台湾です。

4年に1度海外にいくこう、と決めコソコソと積立を行ってきました。台湾では台北を中心にツアーガイドさんの案内のもと有名なスポットを回りました。

完成時は世界1位の高さをほこっていた高層ビル台北101、「千と千尋の神隠し」のモデルとなった九份。アジア最大の広さを誇るパンダとコアラに会える台北市立動物園などたくさんのところにに行かせていただきました。



当社の研修旅行では家族同伴のため総勢18名、うち子どもが7名だったのでどこに行ってもにぎやかな旅行でした。食はともて日本人に合う味付けです。

なかでも点心はとてもおいしく子どもたちもバクバクとたいらげておりました。

職業病と申しますか、私が興味を持ったことは中心部とその他の位置関係、建物、そして台湾の雰囲気です。

台北の市街地から高速に乗り少し走ると熱帯雨林特有の植物でおいしげった地域にいき、そこには近代化は全く見られません。建物は一昔の西洋風の建物がおおく、その背景からは歴史を感じられます。そして露店が立ち並ぶ町並みは昔の日本を感じさせる懐かしい風景でした。



「外を見ると内が見える」と感じさせるところがたくさんありました。

帰国後スタッフの1人が「やっぱり日本が一番」と言っておりました。外を見ないと良いところも分かりません。異国文化に触れることは、日本での日常が当たり前でないことや物の価値観やとらえ方を考えさせてくれる視点を与えてくれたと思います。充実した研修旅行でした。

《石川 明人》